

みなさんと町議会 町政をつなぐ パイプ役の仕事を ひきつづきががんばらせてください

十二月を迎えました。これからの町議会のあり方が問われる四年に一度の時を迎えました。

私・小島昌治は、旧押水町で町議に当選以来27年間議員をやらせていただいておりますが、今回は、ほんとに、かつてなく厳しく辛いたたかいになっております。どうか、みなさんと町政をつなぐパイプ役の仕事にひきつづきががんばらせてください。どうかお力をお貸しください。

私の議員活動の原点は、「苦難あるところに日本共産党・小島昌治あり」とお役に立つことです。そして、①町民の声・願いを町政に届ける②発言する、②町予算や施策を住民目線でチェックする、③議会と町政の様子を報告する……この3点を胸に刻んで活動してまいりました。

そんな活動の中で最近、なによりも嬉しかったのは、18歳までの子どもへの医療費完全無料化を実現できたことです。みなさんと力あわせて宝達山での産廃処分場建設計画をストップさせられたのも嬉しいことでした。町民のみなさんの声・願いと結んで議会で発言をつづけるなら、町政は動かせる・変えられるという確信を私は持ちました。

いま、「町長派か反町長派か」と議員の色分けをする向きもありますが、大切なのは「町民の利益第一」をつらぬいてがんばることではないでしょうか。

みなさん。私には、なんとしても実現したいことがあります。

第一は、下水道料金の引き下げです。かほく市の倍近い料金のままにしておいては、若い世帯に選ばれない町になってしまいます。

第二に、国保税の子どもに掛けている「均等割」をゼロにすることです。収入のない子どもへの課税は理不尽です。

第三に、学校給食費の2人目無料です。宝達志水町は、保育料も2人目は無料ですからスジが通ります。

最近では、「介護に関わる費用は増える一方です。消費税10%なんて！」との怒りもお聞きます。安倍政治の国民そっちは極まれりです。

それだけに、宝達志水町が、町民の暮らしを守る“防波堤”の役割を発揮するよう、小島昌治は全力でがんばります。

ご支援を心からお願いいたします。

寒さも本番入りです。風邪などひかぬよう、お大事になさってください。

二〇一八年十二月

小島 昌治



宝達志水民報

2018年12月号外
発行・日本共産党宝達志水支部
(電話 28-2705)
日本共産党宝達志水支部の見解を
紹介します。